

# ZEPEAL

## ゼピール サーキュレーター AS-K10H

[羽根サイズ19cm]

### 取扱説明書(保証書付)

このたびはサーキュレーターをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

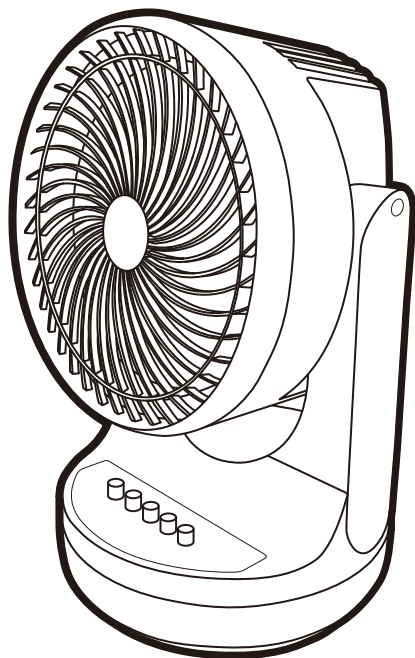
ご使用前にこの取扱説明書(保証書付)をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになったあとは、保証書とともに大切に保管してください。

万一ご使用中に分からないことや不具合が生じたとき、きっとお役に立ちます。

#### も く じ

安全上のご注意	1 ~ 2
各部の名称	3
使いかた	4
設置場所について	5
お手入れと保管	6 ~ 7
アフターサービスについて	8
仕 様	8
長年ご使用のサーキュレーターはよく点検を	9
長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について	9
MEMO	10
保証書	11



●イラストと実際の製品は多少異なる場合があります。

- このサーキュレーターは、一般家庭用です。他の用途でのご使用はしないでください。思わぬ事故の原因となります。
- この製品は、海外ではご使用になれません。FOR USE IN JAPAN ONLY

# 安全上のご注意

※ご使用前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

※ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



**警告**

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



**注意**

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近辺に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



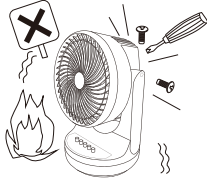
記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

## 警告

- 絶対に分解、修理、改造を行わないでください。発火や異常動作によりケガをする恐れがあります。



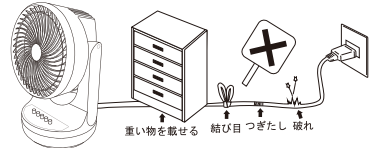
分解禁止



- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。電源コードが破損し、感電やヤケド、発火による火災の恐れがあります。



禁止

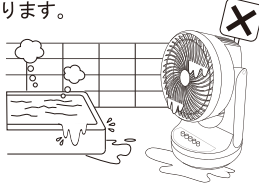


重い物を載せる 結び目つぎだし 破れ

- 浴室など湿気が多い場所では使用しないでください。感電や故障の原因となります。



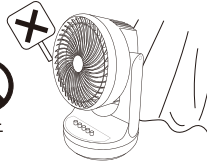
禁止



- 風の流れを遮るような障害物(カーテンなど)の周囲や不安定な場所で使用しないでください。



禁止



カーテンや補木などが吸引口に巻き込まれたり、風通しが悪くて吹出口や吸込口がふさがると、加熱して故障や火災の原因となります。卓上などに置いて使用する場合は、地震などで落ちない場所に置いてください。

- 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電の恐れがあります。



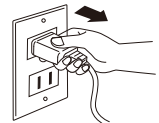
濡れ手禁止



- お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



プラグをコンセントから抜く

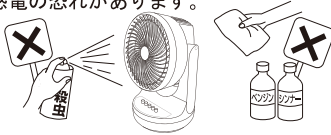


# ⚠ 注意

- ベンジンやシンナー、アルコールで拭いたり、殺虫剤などのスプレーを近くで使用したりしないでください。火災や故障、感電の恐れがあります。



禁止



- 引火性のガスのある所では使用しないでください。火災や故障、感電の恐れがあります。



禁止



- 加湿器などの水蒸気や霧などを直接当てないでください。感電や故障の恐れがあります。



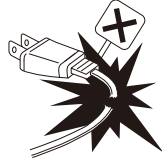
禁止



- 電源コードや電源プラグが破損しているときは使用しないでください。感電やショート、発火の恐れがあります。



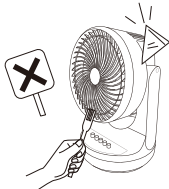
必ず守る



- ガードのすきまに指や異物を入れないでください。感電や故障、ケガの恐れがあります。



禁止



- AC100V以外の電源では使用しないでください。感電や発火の恐れがあります。



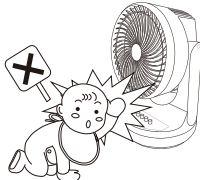
必ず守る



- お子さまのそばで使う場合は、触らないように十分注意してください。転倒によるケガや故障の恐れがあります。



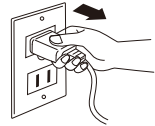
必ず守る



- 電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らずに、必ず電源プラグを持って抜いてください。感電やショート、発火の恐れがあります。



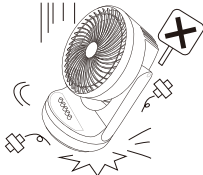
必ず守る



- 本体を落としたり、ぶついたりしないでください。プラスチック部が割れて、感電の恐れがあります。



禁止



- 電源プラグは根元まで確実に差込んでください。差込みが不完全ですと、感電やショート、発火の恐れがあります。



必ず守る



- 定期的に、電源プラグをコンセントから抜いて付着したホコリや汚れを取り除いてください。絶縁不良により、火災の恐れがあります。



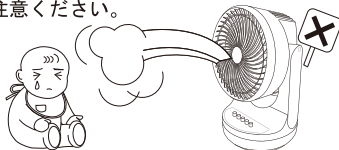
必ず守る



- 扇風機ではありません。吹出口から風を長時間、体に当てないでください。風により健康を害する恐れがあります。特に乳幼児、お年寄り、ご病気の方にはご注意ください。



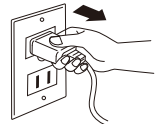
禁止



- 長時間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電、漏電火災の恐れがあります。

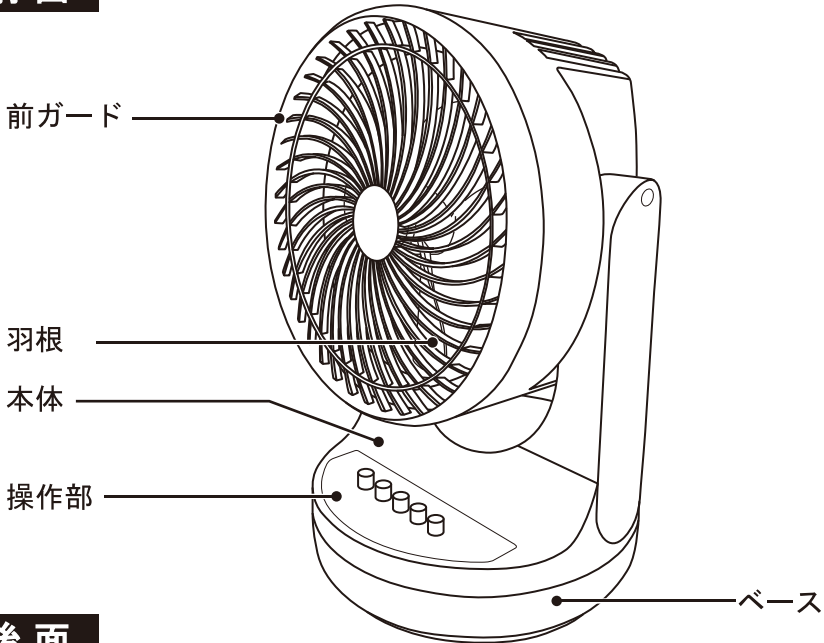


プラグをコンセントから抜く

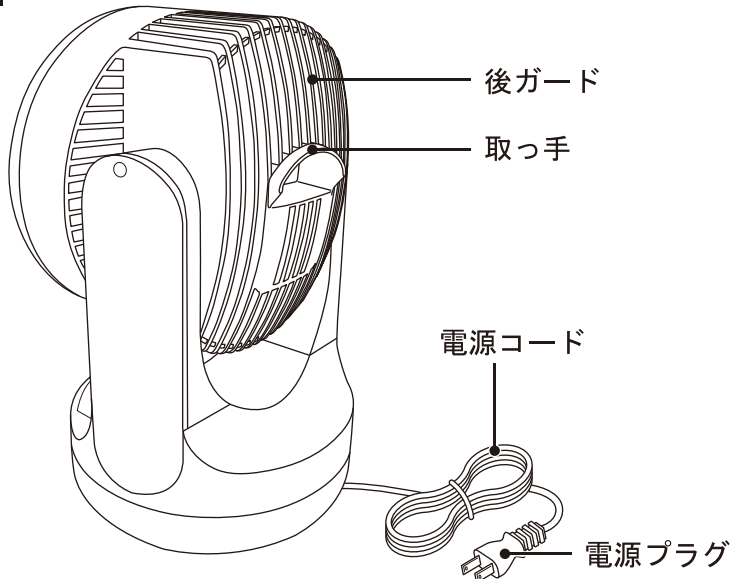


# 各部の名称

## 前面



## 後面



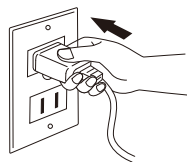
首振り角度	
上下(手動)	約90度
左右(自動)	約80度

※左右の角度調節は手動では行わないでください。  
故障の原因になります。

●イラストと実際の製品は多少異なる場合があります。

# 使いかた

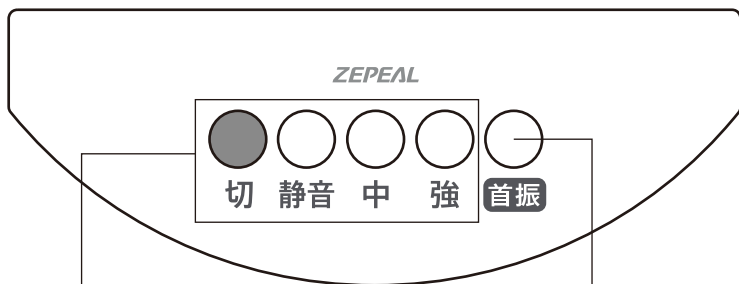
## 1 電源プラグをコンセントに差込む



## 2 風量を調節する / 電源を切る / 自動首振りを使う

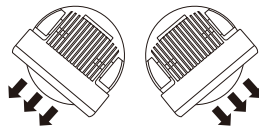
「静音」「中」「強」ボタンを押すと、運転します。表示を見ながら風量を調節してください。

「切」ボタンを押すと停止します。



切 : 羽根の回転が停止します。  
静音 : 羽根が静かに回転します。  
中 : 羽根が中速で回転します。  
強 : 羽根が高速で回転します。

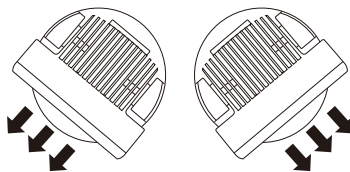
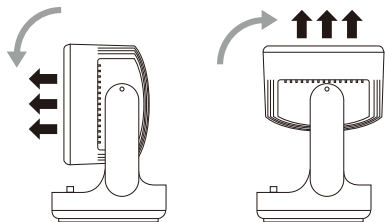
「首振り」ボタンを押すと、左右首振り運転を始めます。  
もう一度押すと首振りが停止します。



## 3 風向きを調節する

●上下0～90度まで4段階に調節できます。

●左右80度まで首振りします。



- 首振り運転中は本体可動部のすき間に指などを挟まないように注意してください。
- 左右の首振りは手動ではできません。故障の原因になります。

# 設置場所について

## ⚠ 注意



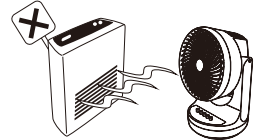
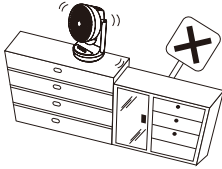
●不安定な床棚、壁面などに設置しないでください。製品落下の恐れがあります。



●台所や工場など油污れが多く、油成分が浮遊している場所では使用しないでください。故障の原因となります。



●温風ヒーターやストーブなど暖房器具の上や近辺には設置しないでください。故障や変形の恐れがあります。

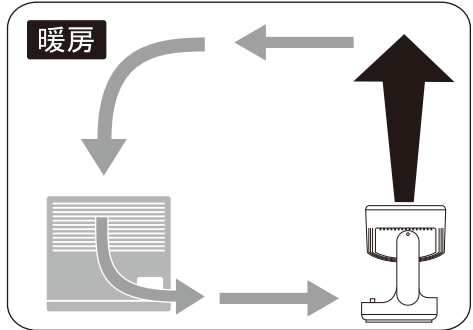
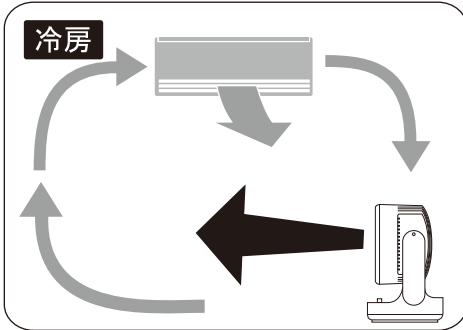


## 設置場所

### 冷暖房の効率アップに

空気を循環させることにより、室内の温度のムラを小さくします。

← サークュレーター風の向き  
← 空気循環のイメージ

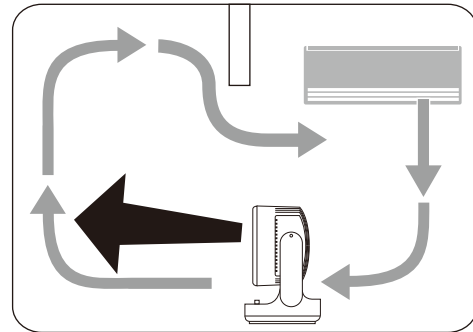
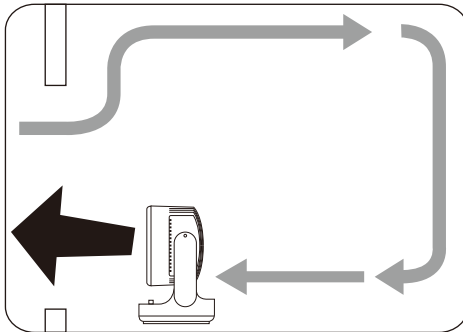


### お部屋の換気・排気に

窓の外に向け、部屋にこもった汚れた空気を外に出します。

### 送風機として

エアコンのある部屋からエアコンのない部屋へ風を送ります。



# お手入れと保管

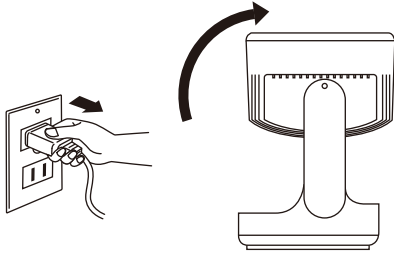


**警告**

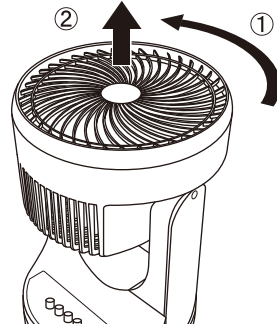
- 必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた状態でお手入れしてください。
- 本体の丸洗いは危険ですので、絶対に行わないでください。

## ガードの取り外しかた

- 1 電源プラグをコンセントから抜き、ガードを真上(90°)に向けてください。

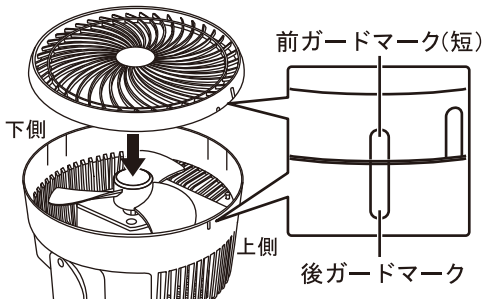


- 2 前ガードを矢印の方向に回し、上に持ち上げてください。

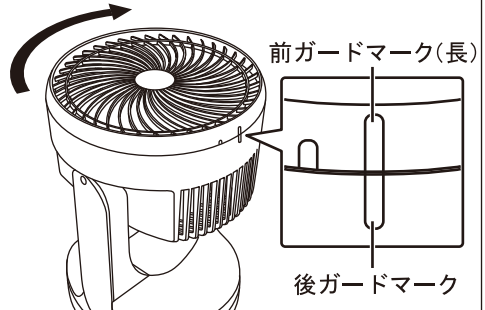


## ガードの取り付けかた


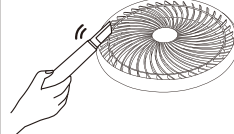
- 1 後ガード上側のマークの位置に前ガードマーク(短)を合わせて前ガード全体をはめてください。



- 2 前ガードを矢印の方向に回し、後ガードマークに前ガードマーク(長)を合わせてください。



# お手入れ

本体の汚れ		水かぬるま湯でうすめた中性洗剤に浸した柔らかい布をかたく絞って拭き、さらに乾いた柔らかい布で水分が残らないように拭き取ってください。
ガード、羽根のホコリ		掃除機でホコリ、ゴミを吸い取ってから、乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を使用してください。

- お手入れには中性洗剤を使用してください。シンナー・アルコール・ベンジンなどは使用しないでください。破損・変質の原因になります。
- 化学雑巾を使うときは、その注意書きに従ってください。
- 危険防止のため、羽根に貼り付けてある「羽根マーク」ははがさないでください。
- スプレーをかけないでください。（掃除用、殺虫用、整髪用など）破損・変質の原因になります。
- 水をかけて洗わないでください。（感電・故障の原因）

# 保 管

- 保管の前に運転を停止し、必ず電源プラグを持ってコンセントから抜いてください。
- 本体等についた汚れ等はよく拭き取ってください。樹脂が変色したり、破損する恐れがあります。
- 梱包ケースに元のとおり梱包してから湿気の少ないところに保管してください。



# アフターサービスについて

修理・お手入れ・ご使用方法等については、まずお買上げの販売店へご相談ください。

- ①この取扱説明書には保証書が付いています。お買上げの際に販売店より必ず保証欄の「お買上げ年月日」と「販売店印」の記入をお受けください。
- ②保証期間はお買上げ日より1年です。その他詳細は保証書をご覧ください。
- ③保証期間経過後の修理について、修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理を致します。詳しくはお買上げの販売店にご相談ください。
- ④この製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後8年です。この期間は経済産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- ⑤アフターサービスについてご不明な場合は、お買上げの販売店、または当社修理サービスセンターにお問合せください。

※修理の部品について：

修理の部品は部品共有化のため、一部仕様や外観色を変更することがあります。

## ★個人情報の取扱いについて

株式会社電響社は、お客様よりご提供いただいた個人情報について、適切な管理を行い、修理業務を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、お客様の同意が無い限り第三者へ開示または提供は致しません。

## 仕 様

定格電圧	AC100V
定格周波数	50Hz/60Hz
定格消費電力	35W/32W
製品寸法(約)	幅 245mm × 奥行 230mm × 高さ 367mm
製品重量(約)	2.5kg
電源コード(約)	1.6m

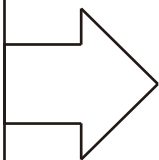
上記のデータは強風時の数値です。

※製品の仕様は、品質向上、製品改良のため、予告なく変更することがあります。

# 長年ご使用のサーキュレーターはよく点検をお願いします。

## ★こんな症状はありませんか？

- 電源を入れても羽根が回らない。
- 羽根が回っても回転が遅かったり不規則。
- モーター部が異常に熱い。
- 異常な音がする。
- コゲくさいにおいがする。



## ★異常があれば

ご使用中止！！  
すぐに電源プラグを抜いて  
事故防止、モーターの焼損  
防止のために必ず販売店  
にご相談ください。

## 長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

### (本体への表示内容)

※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の表示を本体に行っています。

【製造年】(本体に西暦4桁で表示してあります)



※【設計上の標準使用期間】 6年  
設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・ケガ等の事故に至る恐れがあります。

### (設計上の標準使用期間とは)

※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

### ■標準的な使用条件 日本工業規格 (JIS C9921-1)及び (社)日本電機工業会自主基準HD-116-3Iによる

環境条件	電圧	単相交流100V
	周波数	50Hz及び60Hz
	温度	30℃
	湿度	65%
	設置条件	標準設置(製品の取扱説明書による)
負荷条件		定格負荷(風速)(製品の取扱説明書による)
想定時間等	1日あたりの使用時間	8 (h/日)
	1日使用回数	5 (回/日)
	1年間の使用日数	110 (日/年)
	スイッチ操作回数	550 (回/年)
	首振運転の割合	100 (%)

### ●「経年劣化とは」

長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化の事です。

# MEMO



コールセンター

本社：〒556-0006 大阪府大阪市浪速区日本橋東2丁目1番3号  
TEL：0120-070-440 [受付時間] 9:00~17:00(土曜、日曜、祝日を除く)  
FAX：06-6644-4433

修理サービスセンター

住所：〒601-8347 京都府京都市南区吉祥院観音堂南町1番57号(電響社サービスセンター)  
TEL：075-681-2430 [受付時間] 9:00~17:00(土曜、日曜、祝日を除く)  
FAX：075-681-0886